

まちづくり懇談会資料②

令和5年度の主な推進事業

栗山町長 佐々木 学

●各種教育施設等が連携した教育プログラムの推進

高・専一貫教育プログラムの開発

●福祉を軸にした新たな教育モデルの開発

- ☞ 文部科学省委託事業（専修学校による地域産業中核的人材養成事業）
- ☞ 新たな教育モデル（介護福祉学校と栗山高校との連携による福祉教育）
- ☞ 教育プログラム開発のための体制（「魅力化コンソーシアム」の構築）

高等学校段階【栗山高校】

高校1年生	高校2年生	高校3年生
-------	-------	-------

必修科目「栗山と福祉」
※3年次選択科目：フードデザイン

- ◆ 栗山高等学校で学ぶ3年間で生徒全員が総合科目「（仮称）栗山と福祉」を履修
- ◆ 栗山町の高齢化の実態と課題解決方法に関する学習を実施
- ◆ 探究学習や進路指導を支援するプログラムの活用
- ◆ 介護学生、福祉・介護専門職とともに演習できる機会の創出
- ◆ 介護職員初任者研修の資格取得修了や進学による国家資格取得への動機づけ、介護学生との合同授業

専門学校段階【介護福祉学校】

専門学校1年生	専門学校2年生
---------	---------

介護福祉学科

- ◆ 介護福祉士を取得し施設・地域で活動できる能力（医療的ケアを含む。）の育成
- ◆ 介護福祉としての基準科目と独自科目の地域活動研究の実施や、キャリア形成支援講座の開設により、地域を俯瞰し、地域づくりに関与する能力の育成
- ◆ 次世代の人材づくりのためのプレゼン能力の養成



●魅力ある栗山高校づくりの推進

魅力ある高校・選ばれる学校づくりの推進

●魅力化実現に向けた取組

- ☞ 栗山高等学校の魅力づくり委員会からの提言を実現するため、高校魅力化コンソーシアムを設置し、産学官の参画による教育モデルの構築・推進
- ☞ 地域課題解決に対応した地域社会に求められる人材ニーズに基づいた教育プログラムの形成

●女子硬式野球部の活動支援

- ☞ 活動開始に係る官民一体となった支援や生徒受入れに必要な環境整備など継続した取組
- ☞ 指導者を中心に女子野球界との関係構築や栗山高校との中学校への訪問・営業活動、後援会組織など官民協働による各種大会や女子野球体験会の開催、各種メディアを活用した情報発信など、積極的なPR活動を全国展開し生徒確保を実現



●地域に必要な医療受診環境の整備

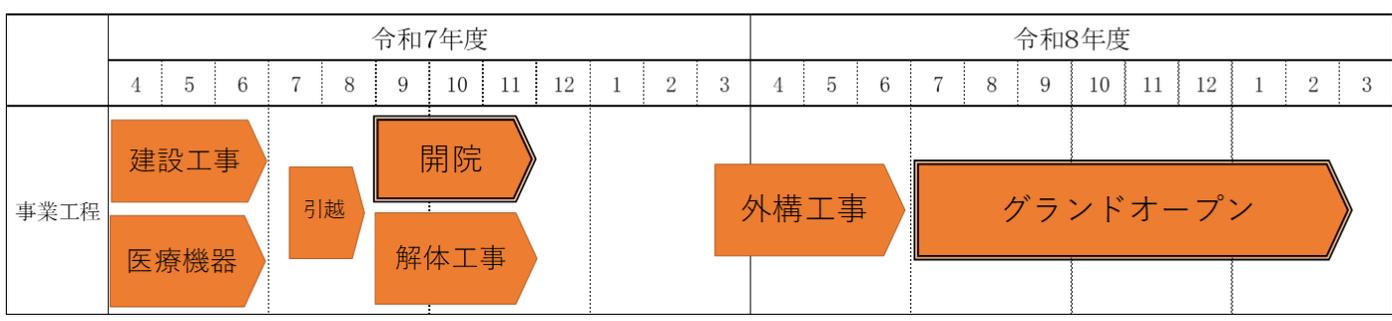
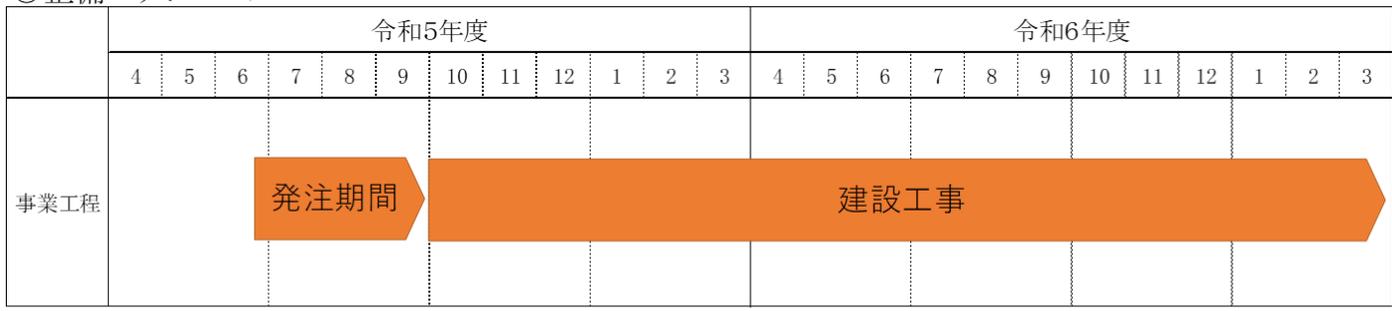
栗山赤十字病院の改築事業

- ☞ 診療科は、現状の全12科を維持
- ☞ 病床数は、現状136床から103床に変更



区 分	事業費
建設費	5,142,341,000円
解体費・外構工事等	648,917,000円
医療機器	580,000,000円
合 計	6,371,258,000円

○整備スケジュール



●介護人材の育成や地域の支えあい活動の推進など介護予防の充実

地域一体となって支え合う環境づくり

- ☞ 介護サービスの新たな担い手育成、介護従事者の資質向上（初任者研修事業、資格取得支援など）
- ☞ 介護福祉学校による介護福祉士養成（国家試験対策、自治体包括連携など）
- ☞ ケアラー支援の充実（お出かけ安心サービス事業、相談・支援体制の構築など）



●安全・安心な道路環境の維持・確保

冬期間における道路環境の整備

●除排雪事業あり方検討会議の設置

- ☞ 持続可能な除排雪体制を検討するため、除排雪事業あり方検討会議を設置
- ☞ 構成員は町内会・自治会などの地域住民、学校や除雪組合の関係者、さらに、除排雪に関する有識者
- ☞ 除雪出動基準の見直し
- ☞ 除排雪作業施工管理基準の見直し



●安全・安心な居住環境の整備

分譲地の整備

●中里地区分譲地整備（第1期造成事業）



- 👉 令和5年度 造成工事
- 👉 令和5年度 販売開始
- 👉 分譲区画数 20区画
- 👉 総事業費 1億9,900万円

●中央団地跡地分譲地整備



- 👉 令和5年度 跡地住宅解体
- 👉 解体事業費 2,189万円

- 👉 令和9年度 実施設計（予定）
- 👉 令和10年度 造成工事（予定）
- 👉 令和10年度 販売開始（予定）

●安全・安心な居住環境の整備

公営住宅の整備

●継立団地の建替え



- 👉 令和5年度 木造平屋建2棟
8戸建替え工事
- 👉 令和5年度 入居開始
- 👉 事業費 1億9,982万円

- 👉 令和6年度 既存住宅解体
- 👉 解体事業費 1,000万円

●中里団地の建替え



- 👉 令和5年度 実施設計
- 👉 事業費 875万円

- 👉 令和6年度～11年度
12棟96戸建替え工事
- 👉 総事業費 約25億円

●生産性の向上や災害に強い農業基盤の整備

持続可能な農業の推進

●生産性の高い農業・農業新技術の取組を推進

- ☞ほ場の大区画化と併せ、担い手に農地を集積（営農効率の向上）
- ☞栗山町土地改良センターの設置（農地整備事業の推進）
- ☞農作業の省力化・軽労化を推進（スマート農業の導入）



■農地整備事業の予定

①継立北部	H27～R6	総事業費	30億8,500万円
②円山	R3～R10	総事業費	15億9,600万円
③富士	R5～R13	総事業費	52億円
④御園南部	R4～R10	総事業費	9億8,000万円
⑤御園北部	R6～	総事業費	35億円（予定）
⑥御園中部	R7～	総事業費	29億円（予定）
⑦北学田南部	R10～	総事業費	40億円（予定）
⑧北学田北部	R11～	総事業費	40億円（予定）
⑨雨煙別	R13～	総事業費	33億円（予定）
⑩鳩山	R14～	総事業費	28億円（予定）
⑪中里	R15～	総事業費	36億円（予定）
		計	349億6,100万円



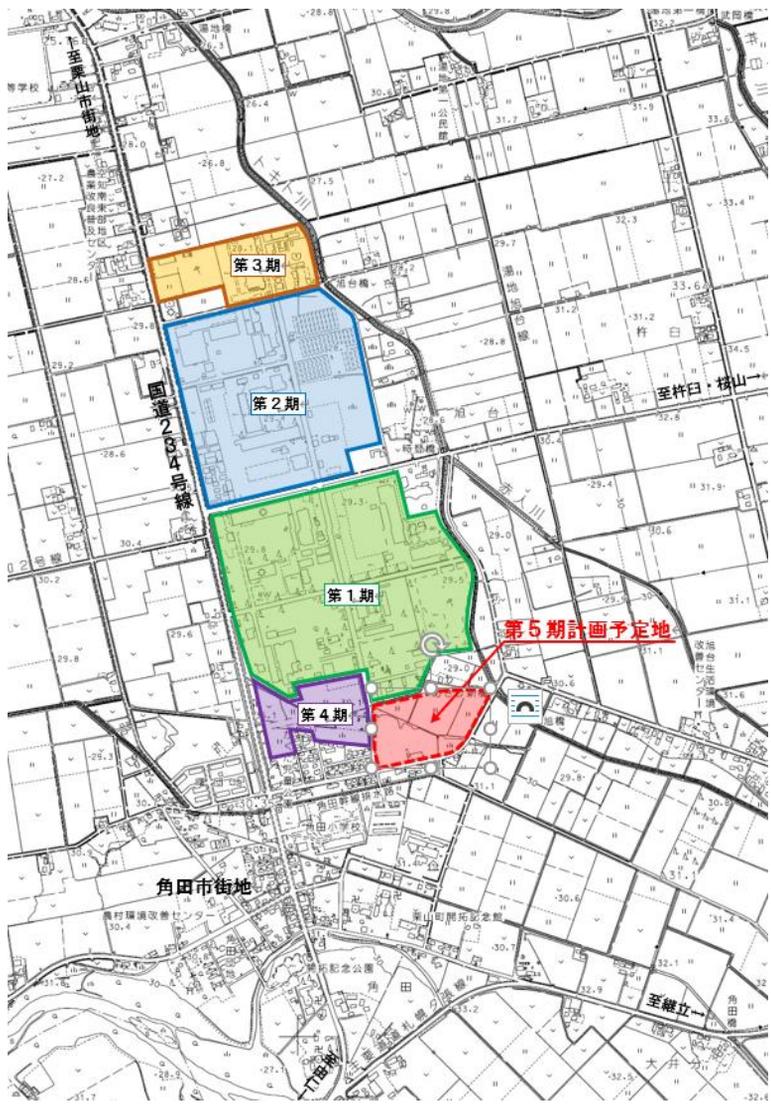
● 企業誘致活動及び企業版ふるさと納税の推進

栗山工業団地造成事業

- 👉 令和5年 8月 造成工事着工
- 👉 令和5年10月 造成工事完了・分譲販売開始
- 👉 全体事業費 5億1,819万円

● 第5期栗山工業団地造成事業計画位置図

- 👉 所在地 栗山町字旭台43番地3ほか
- 👉 整備面積 46,113㎡



●魅力ある商店街及び観光・交流における組織体制づくりの推進

関係人口創出の拠点 栗山煉瓦創庫くりふと

●“栗山煉瓦創庫くりふと”の 関係人口づくり事業：サービス提供内容

